

1. 2026年度 経営方針 ～ ケイパビリティの深化で地域経済の発展に貢献する～

創立50周年を第二創業の起点と捉え2025年4月に「地域経済の発展に中立・客観・専門的な分析・提言で貢献する」をパーパスとした新たな経営計画（2025年～2029年）をスタートした。

第二創業2年目となる2026年度は、仕組化や本格的な成長フェーズと位置づけ、先達から引き継ぐ専門スキルを基盤に、社会課題に応えるアビリティを育てることにより、組織の持続可能な成長モデルに深化する。

「ちいき未来研究所」の知名度とプレゼンス向上に向け、試行錯誤から唯一無二の存在となるため、高度な専門研究に基づき、政策提言から実行支援まで一貫して伴走できるシンクタンクとなる。

2. 事業戦略

（1）専門研究と実行支援の両輪

専門的な研究に基づく政策提言をもとに、具体的な施策に落とし込む実行支援を実施する。

研究と実務の両輪を回すことで、課題の本質を見極め、中央府省庁への提言を行う「静動脈連携サイクル」を定着化させる。

（2）プレゼンスの向上

専門研究と実行支援の両輪に加え、専門領域の確立、質の高い研究成果の発信、行政・企業との協働、登壇やメディア露出を通じた可視性強化を継続し、研究所の信頼と影響力を高める。

3. 主要施策

（1）専門性・知識基盤の強化

- ・行政区から事業活動（商圈域）を意識した調査の実施
- ・アカデミアとの連携強化

（2）事業エリアへの浸透と領域拡大

- ・自治体（山口/広島/北九州）へのEBPMの支援
- ・行政の主要施策への関与